

## 研究主題

わかる・できる喜びを味わい、主体的に学ぶ子どもの育成  
～基礎・基本の定着を図る指導の工夫～

### 理解

#### 算数科におけるUD

- 焦点化** (ねらいや活動内容を絞る)
- 共有化** (考えを伝え合う  
思考過程や理解を揃える)
- 視覚化** (視覚を重視した支援)
- 作業化・動作化** (動作を生かした活動)
- スモールステップ化** (段階に応じた支援)
- 反復化** (パターン化した活動・繰り返し)
- 授業の構造化** (授業の流れの一定化)

#### 視点②

#### 学習内容を理解させる工夫

- ・課題の明確化(既習の確認)
- ・見通し
- ・自力解決のさせ方
- ・全員の理解を揃えるまとめ

#### 視点③

#### 学習内容を定着させる工夫

- ・類題での確認
- ・全員が「できた」を感じられる適用問題
- ・学習内容の活用

#### 視点①

#### 学習への参加を促す工夫

- ・学習のスタートラインに立たせる
- ・学習意欲の向上
- ・学習におけるバリアフリー

参加

定着

## 春岡スタンダード

(UDを取り入れた全教科共通の土台)

〈仮説〉

ユニバーサルデザインを取り入れた学習環境を整備し、実態に応じた指導をすることにより、児童は主体的に学び、基礎・基本を身に付けることができる。

#### 春岡小における「基礎・基本の定着」

- これまでの学習内容(既習事項)を使って、本時の自力解決ができること。
- 授業の適用問題において、教科書の問題が確実に解けること。